

文教委員会報告資料

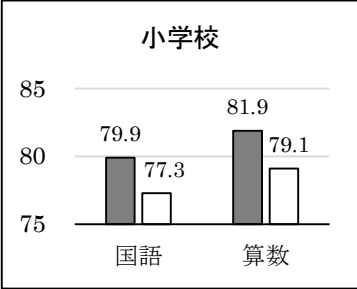
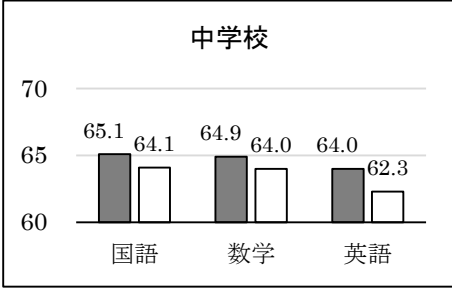
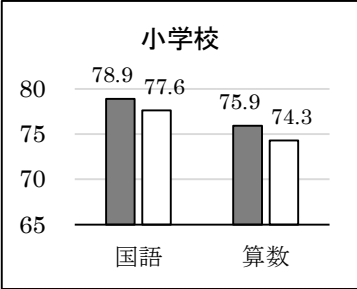
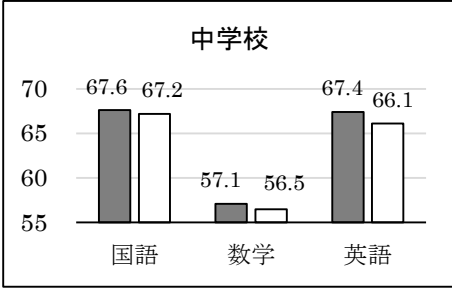
令和2年11月13日

報告事項件名	頁
(教育指導部)	
(1) 令和2年度後期における学力定着に向けた取り組みについて……………	2
(学校運営部)	
(2) 給食調理室エアコン設置に向けた検討状況について……………	4
(3) 校外施設指定管理者評価結果について……………	7
(子ども家庭部)	
(4) 令和2年度入学「チューリップシート」の提出状況について……………	19
(5) 「こころとからだアンケート」の実施結果について……………	20

(教 育 委 員 会)

文教委員会報告資料

令和2年11月13日

件名	令和2年度後期における学力定着に向けた取り組みについて																																										
所管部課名	教育指導部学力定着推進課																																										
内容	<p>1 児童・生徒の学力の現状</p> <p>各校で6月下旬から7月30日までの期間に「足立区学力定着に関する総合調査」を活用し、児童・生徒個々の学習状況を把握した。長期休業に配慮し、例年通りの一斉実施を見送ったため、調査結果は概要のみ表示。</p> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> 足立区 全国 </div> <p>【全体通過率】※1 (単位 %)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>小学校</p>  <table border="1"> <caption>小学校 全体通過率</caption> <thead> <tr><th>科目</th><th>足立区</th><th>全国</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>国語</td><td>79.9</td><td>77.3</td></tr> <tr><td>算数</td><td>81.9</td><td>79.1</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>中学校</p>  <table border="1"> <caption>中学校 全体通過率</caption> <thead> <tr><th>科目</th><th>足立区</th><th>全国</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>国語</td><td>65.1</td><td>64.1</td></tr> <tr><td>数学</td><td>64.9</td><td>64.0</td></tr> <tr><td>英語</td><td>64.0</td><td>62.3</td></tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>【全体正答率】※2</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>小学校</p>  <table border="1"> <caption>小学校 全体正答率</caption> <thead> <tr><th>科目</th><th>足立区</th><th>全国</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>国語</td><td>78.9</td><td>77.6</td></tr> <tr><td>算数</td><td>75.9</td><td>74.3</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>中学校</p>  <table border="1"> <caption>中学校 全体正答率</caption> <thead> <tr><th>科目</th><th>足立区</th><th>全国</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>国語</td><td>67.6</td><td>67.2</td></tr> <tr><td>数学</td><td>57.1</td><td>56.5</td></tr> <tr><td>英語</td><td>67.4</td><td>66.1</td></tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>※1 目標値以上の正答があった児童・生徒の割合。 (目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)) なお、全体通過率の全国値は各学年の全国通過率を区独自に単純集計した参考値。</p> <p>※2 出題数中何問正解したかの割合。 (正答数÷出題数×100(%)) なお、全体正答率の全国値は各学年の全国平均正答率を区独自に単純集計した参考値。</p> <p>2 分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通過率・平均正答率共に、区全体としては例年並みの水準を維持している。 ・ ただし、学力の分布状況を精査し、個々の児童・生徒の状況に応じた丁寧な補習等の対応が必要である。 	科目	足立区	全国	国語	79.9	77.3	算数	81.9	79.1	科目	足立区	全国	国語	65.1	64.1	数学	64.9	64.0	英語	64.0	62.3	科目	足立区	全国	国語	78.9	77.6	算数	75.9	74.3	科目	足立区	全国	国語	67.6	67.2	数学	57.1	56.5	英語	67.4	66.1
科目	足立区	全国																																									
国語	79.9	77.3																																									
算数	81.9	79.1																																									
科目	足立区	全国																																									
国語	65.1	64.1																																									
数学	64.9	64.0																																									
英語	64.0	62.3																																									
科目	足立区	全国																																									
国語	78.9	77.6																																									
算数	75.9	74.3																																									
科目	足立区	全国																																									
国語	67.6	67.2																																									
数学	57.1	56.5																																									
英語	67.4	66.1																																									

	<p>3 学力定着に向けた今後の重点的な取組み</p> <p>既存の補習事業（数学チャレンジ講座、英語チャレンジ講座）等の活用はもとより、区独自の学力施策として以下の取り組みに注力する。</p> <p>(1) 授業における学習保障</p> <p>ア 足立スタンダードに基づく「わかる授業」の実践 イ 校長等による定期的な授業観察と指導、助言 ウ 学力定着指導員・教科指導専門員の有効活用</p> <p>(2) 個のつまずきの把握と個に応じた指導</p> <p>ア 区学力調査結果データ等の活用</p> <p>S P表や学力ポートフォリオの分析を行い、個々の児童・生徒のつまずきの状況に合わせた効率的・効果的な指導・補習を実施。</p> <p>イ 学習教材の提供による学校支援</p> <p>(ア) 区独自教材※「次へのステップ」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区独自教材である「次へのステップ」（小学生向け＝算数、中学生向け＝数学・英語）を充実。 ・ 特に中学生用について、既存の「問題演習編」に加え、「基礎確認（手引き）編」と「発展活用編」を新規に作成。 ・ 中学校3年間の数学・英語の先取り学習や総復習用の教材として、授業や補習、家庭学習での活用を図る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※「次へのステップ」</p> <p>基礎的な学習内容の定着を図ることを目的に、習熟度に応じて家庭学習や学校での補習で活用できるよう、問題演習を中心に、区が独自に作成した学習教材。</p> </div> <p>(イ) 「中1夏季勉強合宿」の教材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学1年生の数学の補習教材として、中1夏季勉強合宿で使用予定であった教材を活用。 ・ 中1夏季勉強合宿の教材の内、小学校での履修内容を抜き出し、小学6年生の算数の補習教材として提供。
<p>問 題 点 今 後 の 方 針</p>	

文教委員会報告資料

令和2年11月13日

件名	給食調理室エアコン設置に向けた検討状況について						
所管部課	学校運営部学校施設課 学校改築担当部学校改築担当課						
内容	<p>標記の件について、現在の検討状況と今後の取り組み方針を報告する。</p> <p>1 検討の目的</p> <p>給食調理室内の温湿度環境の改善に向け、給食調理室内へのエアコン機器の設置手法を検討し、給食調理員の安全確保ならびに給食調理業務の効率化や食材等の衛生管理対策の向上につなげることを目的とする。</p> <p>2 現時点におけるエアコン機器の設置状況</p> <table border="1" data-bbox="432 913 1267 1211"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校（3校）</td> <td>千寿小 綾瀬小(工事中)、江北小(工事中)</td> </tr> <tr> <td>中学校（3校）</td> <td>鹿浜菜の花中、江北桜中 千寿青葉中(工事中)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成30年度 移動式スポットクーラーを全校へ2台配置</p> <p>3 機器を設置する対象校</p> <p>小学校65校、中学校32校、計97校</p> <p>4 既存校における機器設置の課題</p> <p>(1) 機器設置場所の確保</p> <p>給食調理室内の天井には照明や排気ダクト、定温式スポット感知器などが設置されており、機器設置にあたり十分な事前調査が必要。</p> <p>(2) 冷暖房機能力の選定</p> <p>排気風量が大きく、冷気が排気されやすいため、室全体を冷暖房することはできない。</p> <p>(3) 工事期間の制約</p> <p>夏休み期間に一連の工事を完結させるための事前準備が必要。</p>	区分	学校名	小学校（3校）	千寿小 綾瀬小(工事中)、江北小(工事中)	中学校（3校）	鹿浜菜の花中、江北桜中 千寿青葉中(工事中)
区分	学校名						
小学校（3校）	千寿小 綾瀬小(工事中)、江北小(工事中)						
中学校（3校）	鹿浜菜の花中、江北桜中 千寿青葉中(工事中)						

(4) 近隣住民への配慮

騒音や熱風を考慮した室外機設置場所の選定が必要。

(5) 機器設置後のメンテナンス

給食調理室全体の衛生状態を良好に維持するための対策として、小まめなメンテナンスが必要(特にフィルタ清掃)。

5 選定機器のポイント

(1) 直接調理員へ風を当てるためのスポット吹出口も取り付け可能であること。

(2) 油煙や熱に強いこと。

(3) 耐食性、耐錆性、耐油性に優れていること。

(4) フィルタは耐熱性、油、チリ、ホコリ対応型とすること。

※ 洗浄式の場合は、繰り返し利用可能なものとする。

6 設置計画

年度	設置方針
R 2年度	R 3年度工事設置2校 設計委託 R 3年度リース設置2校 リース契約 R 4年度以降の設置校(93校) 基本設計委託
R 3年度	工事設置2校 リース設置2校 R 4年度工事設置校(校数未定)の設計委託
R 4年度	工事設置(校数未定) リース設置(校数未定) R 5年度工事設置校(校数未定)の設計委託
R 5年度	工事設置(校数未定) リース設置(校数未定)

7 R 3年度設置校選択の基本的な考え方

(1) 夏休みに計画保全工事や各種改修工事をはじめ、トイレ改修工事が30校予定されていることを勘案し、工事で2校、リースで2校設置する。

(2) 工事、リース設置共に小・中学校それぞれ1校ずつ選択する。

	<p>(3) 工事、リース設置共に変電室改修が必要な学校と、不要な学校を選択する。</p> <p>(4) 換気方式に関する有圧換気扇（一般的に給食調理室の窓に取り付ける大型の換気扇）と排気ファン（主に屋上に設置された大型の換気扇までダクトで接続して排気する方式）の別、給食調理室上階の状況等を踏まえ選択する。</p> <p>(5) 選定する学校が区内の一部地域に偏らないよう選択する。</p> <p>(1) から (5) に基づき、設置校は以下の4校とする。</p> <p>工事設置 栗原小、第十三中</p> <p>リース設置 東綾瀬小、第六中</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>令和4年度以降に設置予定の学校については、基本設計を通じて現地の状況把握に努め、効果的かつ効率的な設置手法の検討を進めていく。</p> <p>令和5年度までの全校設置を目指す。</p>

文 教 委 員 会 報 告 資 料

令和2年11月13日

件 名	校外施設指定管理者評価結果について																												
所管部課名	学校運営部学務課																												
内 容	<p>鋸南自然の家及び日光林間学園の令和元年度業務について、足立区立校外施設指定管理者評価委員会（以下「評価委員会」という）による評価を行ったので、報告する。</p> <p>1 主な業務内容 (1) 鋸南自然の家 区立小学校5年生の自然教室及び一般利用宿泊施設 (2) 日光林間学園 区立小学校6年生の自然教室及び一般利用宿泊施設</p> <p>2 指定管理者・指定管理期間</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">施設名</th> <th style="width: 45%;">指定管理者</th> <th style="width: 30%;">指定管理期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋸南自然の家</td> <td>株式会社フォレスト</td> <td>令和元年度～令和5年度</td> </tr> <tr> <td>日光林間学園</td> <td>(代表取締役 石田 浩二)</td> <td>平成30年度～令和4年度</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 指定管理料（令和元年度） (1) 鋸南自然の家 ① 非精算 93,505,968 円（税込） ② 要精算(修繕費・光熱水費・補助員賄費) 12,295,360 円（税込） 合計 (①+②) 105,801,328 円（税込） (2) 日光林間学園 ① 非精算 58,143,425 円（税込） ② 要精算(修繕費・光熱水費・補助員賄費) 12,937,283 円（税込） 合計 (①+②) 71,080,708 円（税込）</p> <p>4 評価対象期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日</p> <p>5 評価委員会開催日 令和2年7月8日～9月23日の間（書面の送受による実施）</p> <p>6 評価委員会委員構成（計6名）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">種別</th> <th style="width: 30%;">氏名</th> <th style="width: 50%;">役職等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">学識経験者 (有識者含む)</td> <td style="text-align: center;">小林 久美 【委員長】</td> <td>東京未来大学こども心理学部教授</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">橘 真美子</td> <td>中小企業診断士</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">区 民</td> <td style="text-align: center;">大林 英夫</td> <td>青少年対策弘道地区委員会会長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">添田 雅子</td> <td>古千谷小学校PTA会長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">学校長</td> <td style="text-align: center;">桐敷 芳子</td> <td>竹の塚小学校校長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">区職員</td> <td style="text-align: center;">宮本 博之</td> <td>学校運営部長</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	指定管理者	指定管理期間	鋸南自然の家	株式会社フォレスト	令和元年度～令和5年度	日光林間学園	(代表取締役 石田 浩二)	平成30年度～令和4年度	種別	氏名	役職等	学識経験者 (有識者含む)	小林 久美 【委員長】	東京未来大学こども心理学部教授	橘 真美子	中小企業診断士	区 民	大林 英夫	青少年対策弘道地区委員会会長	添田 雅子	古千谷小学校PTA会長	学校長	桐敷 芳子	竹の塚小学校校長	区職員	宮本 博之	学校運営部長
施設名	指定管理者	指定管理期間																											
鋸南自然の家	株式会社フォレスト	令和元年度～令和5年度																											
日光林間学園	(代表取締役 石田 浩二)	平成30年度～令和4年度																											
種別	氏名	役職等																											
学識経験者 (有識者含む)	小林 久美 【委員長】	東京未来大学こども心理学部教授																											
	橘 真美子	中小企業診断士																											
区 民	大林 英夫	青少年対策弘道地区委員会会長																											
	添田 雅子	古千谷小学校PTA会長																											
学校長	桐敷 芳子	竹の塚小学校校長																											
区職員	宮本 博之	学校運営部長																											

7 評価方法

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、合議によらず、書面の送受により実施した。

<提出資料>

1	業務評価シート	8	個人情報保護方針
2	労働条件審査主要チェックシート	9	会社全体の決算報告書（直近3年分）
3	目標設定シート	10	鍵貸出管理簿
4	前回の評価結果の反映状況	11	金銭出納簿
5	令和元年度事業報告書	12	備品管理簿
6	消防計画	13	運営事業計画書
7	施設巡回簿	14	お客様アンケート集計表

8 評価結果

- (1) 鋸南自然の家 35点/55点 得点率63.6% 総合評価 B
(2) 日光林間学園 36点/55点 得点率65.4% 総合評価 B
(評価項目及び評価基準は、P9～18「業務評価シート」参照)

9 委員会での主な意見と対応等

(1) 鋸南自然の家

ア 自然災害等の厳しい状況があった（9月9日以降、台風15号の影響により閉館）にもかかわらず、問題なく運営された。緊急時の的確な判断と地域への支援は普段の訓練や会社の方針が反映されたものであると思う。

イ 台風時の避難所開設は非常に良かった。今後も足立区の顔として誇れる施設になって欲しい。

ウ 今後もアレルギー対応や感染予防対策等、適切な対応が求められる。自主企画についても、感染予防対策を講じた内容での企画が必要となる。

- ・ 対応策 感染予防対策をとったうえで、集客が見込める自主企画について、指定管理者と共に検討していく。

(2) 日光林間学園

ア 土嚢作成・災害対応研修の実施等、安全面の意識向上に対する取り組みが優れている。今後も継続して行っていただきたい。

イ 日光周遊ツアー等の自主企画やSNSでの情報発信を行い、集客を強化している。

ウ 自社発信のPRのみでなく、利用者からの良い口コミを発生させる仕掛けや、イベント・ツアーをリピートしたくなるような仕掛けがあると更に良い。

- ・ 対応策 利用者からの良い口コミやリピートしたくなる仕掛けについて指定管理者と共に検討し、区民へのPRを更に強化していく。

問題点
今後の方針

教育委員会及び文教委員会に報告後、11月下旬に足立区HPにて公表する。

足立区立校外施設指定管理者評価委員会

業務評価シート

【評価対象施設】 足立区立鋸南自然の家

【評価対象年度】 令和元年度 【自己評価】 令和2年6月5日 【評価委員会】 令和2年9月23日

【評価点】 水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり（水準クリア）：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目			
1 管理 状況	(3) 法令等の遵守 (※倫理性も含む)	個人情報保護、各種法令等は遵守されているか	評価点		評価委員
			指定管理者	担当課	
		①個人情報保護の取組み ◆内部規定の策定、研修の実施 ②個人情報事故への対応 ◆個人データの漏洩や紛失事故の有無、データアクセスのID制御 ③労働条件の遵守(労働基準法、労働安全衛生法等) ◆労働条件審査主要チェックシート等による確認 ④各種法令等の遵守 ◆防火管理者・食品衛生責任者等の配置	3	3	3.0
		④各種法令等の遵守 ◆防火管理者・食品衛生責任者等の配置	3	3	
		④各種法令等の遵守 ◆防火管理者・食品衛生責任者等の配置	4	4	
		計① 項目数② 評価点①÷②	13 4 3.3	13 4 3.3	
		【アピールポイント】 ・個人情報の保護について、データアクセスのID制御は無いが個人情報に係るパソコンにはパスワードが設定されており、担当者以外はわからない様にしている。USB等を用いた個人情報のデータ持ち出しも禁止しており、R1年度は個人情報の取扱いに関する事故はなかった。 ・防火管理者は支配人、食品衛生責任者は調理長を選任し、設備責任者と設備担当者が設備に関する資格を有しており法令に準じた有資格者を適切に配置している。 【改善すべき点・課題等】			(満点=5点)
		【法令遵守】 区記入欄 ④仕様書ではボイラー技師2級・危険物取扱者(丙)の有資格者を1名配置としているが、設備担当の2名はそれぞれ資格を有し、十分な知識と技量を持った職員が配置されている。			
		【評価すべき点】法令等の遵守が徹底されており、個人情報に関する取扱いについてはマニュアルの整備と施設内研修が実施されている。 【改善すべき点】個人情報の研修を三ヶ月に一回程度に頻度を高め、個人情報保護に対する意識をより高めてほしい。 【その他注意点】従業員のSNS利用に関しても個人情報保護の観点で注意喚起が必要である。今後も個人情報保護の事故がないよう対応を継続して欲しい。			
	(4) 適切な財務・財産管理	適切な財務・財産管理が行われているか	評価点		評価委員
			指定管理者	担当課	
		①収支状況(安定的な運営) ◆収支計画に沿った予算執行を行っているか。決算状況は良好か。 ◆経費削減に向けた取組を行っているか ◆会社全体の安定的な運営ができていますか ②現金や関係書類等の管理、経理処理 ◆受入れた管理費は適切に記帳処理がされているか ◆帳簿・関係書類の整備・保存、経理状況の明確化 ③経理を担当する常勤の職員 ◆出納係または経理責任者等の配置 ◆現金、貴重品の取扱い時の二重チェック体制の構築 ④備品の管理 ◆動作確認、修繕・買替え計画	3	3	3.0
		②現金や関係書類等の管理、経理処理 ◆受入れた管理費は適切に記帳処理がされているか ◆帳簿・関係書類の整備・保存、経理状況の明確化	3	3	
		③経理を担当する常勤の職員 ◆出納係または経理責任者等の配置 ◆現金、貴重品の取扱い時の二重チェック体制の構築	3	3	
		④備品の管理 ◆動作確認、修繕・買替え計画	3	3	
		計① 項目数② 評価点①÷②	12 4 3.0	12 4 3.0	(満点=5点)
		【アピールポイント】 ・金銭の管理は本部経理部が主導し、施設では小現金と、宿泊費等の現地清算分の売上金以外は取り扱わない体制としており、現地清算分の売上金については施設と本社の両方で確認している。 ・現金、貴重品は事務所金庫にて保管し、売上金は日々入金している。入金は支配人のみが行い、他の職員は行わない体制としている。 【改善すべき点・課題等】 ・R1年度は、4月に指定管理者が変更になったことによる春休み期間の休業と9月の台風の影響を受け長期休館(9~3月)したことにより、計画に沿った収支とはならなかった。また、会社全体も新型コロナウイルスの影響を大きく受け、想定していた収益は上げられなかった。鋸南自然の家・会社全体ともにコロナの事態終息後の集客及び経費管理を徹底し、収益の向上を図る。			
		【財産管理】 財産の管理について、仕様書どおり適正な管理がされた。			
		【評価すべき点】金銭管理の方法が徹底されており、仕様書どおり適正な管理がされている。 【改善すべき点】特になし。 【その他注意点】経費削減に向けた取り組みについて、全社的な取り組みを更に強化することが求められる。手書きの帳簿付けについては、記帳量が増加し、負荷が増えた際には、IT導入等の効率化の検討が必要である。			

足立区立校外施設指定管理者評価委員会

業務評価シート

【評価対象施設】 足立区立鋸南自然の家

【評価対象年度】 令和元年度 【自己評価】 令和2年6月5日 【評価委員会】 令和2年9月23日

【評価点】 水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり（水準クリア）：3点
 水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目		中項目		確認項目		
2 事業 効果	(1) 事業 の 取 組 み	自然教室について 適切に運営がされているか		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
		①校外学習の向上に向けた取組み・方策 ◆児童が集団生活の中で、社会性・自律性・創造性を学ぶためへの支援 ◆施設内や施設外の附属設備で実施可能なプログラムの検証・提案	3	3	3.2	(満点=5点)
		②食育に向けた取組み・方策 ◆食への感謝と理解を深め、食に対する楽しさや興味への喚起、食材や栄養への知識の提供 ◆栄養バランスの整った食事、野菜摂取量、おいしい給食(食事)への取組み	3	3		
		③アレルギー対応 ◆学校との事前打ち合わせ、チェック体制、配膳方法	3	3		
		④感染症対策（感染性胃腸炎ほか） ◆予防と拡大防止、児童の健康情報の学校との共有化	3	3		
			計①	12	12	
			項目数②	4	4	
			評価点①÷②	3.0	3.0	
		一般利用について 適切に施設の運営がされているか		評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員		
①区民サービス向上に向けた取組み・方策 ◆区民（利用者）がより快適な時間をすごせるようなサービスの提供 ◆地域のイベント、季節の花、気象情報、交通情報などの情報提供	3	3	3.2	(満点=5点)		
②一般利用者へ適正かつ確実なサービス提供 ◆予約・利用申込みは、区の規定に従い優先順位の遵守、利用時間の遵守 ◆利用者の立場に立ちながら、公平な利用機会の提供	3	3				
③多様化する利用者からのニーズに対応する取組み ◆車いす利用の方への対応 ◆高齢・障がいをお持ちの方への対応 ◆子育て世帯への対応	3	3				
④利用者とのトラブル防止策 ◆対応マニュアル等による従業員への徹底、ヒューマンエラーの防止策 ◆トラブル内容の明確化と原因の調査、従業員への周知と業務への反映	3	3				
⑤賄い業務体制と衛生管理の取組み ◆食事の質の向上への取組み、季節にあわせたメニューの提供、特別料理の提供など ◆食品衛生・環境衛生への配慮	3	3				
⑥区の施策等に対する取組み ◆区の施策内容を理解し、積極的な取組み・協力体制	4	4				
	計①	19	19			
	項目数②	6	6			
	評価点①÷②	3.2	3.2			
利用率向上の取組みがされているか		評価点				
		指定管理者	担当課	評価委員		
①一般利用者の利用率が上がる自主企画の提案 ◆地域特色を活かしたプログラムの実施・新規プログラムの開拓 ◆利用者が少ない時期に利用者増を目的に実施する企画やサービス等の実施	2	2	2.8	(満点=5点)		
②利用率向上に向けた情報発信 ◆SNS、広報等の活用等 ◆区民利用を促すための独自の広報戦略	3	3				
	計①	5			5	
	項目数②	2	2			
	評価点①÷②	2.5	2.5			
指定 管理 者 記 入 欄	【アピールポイント】 ・自然教室時のアレルギー対応については、各学校との事前確認を密に行い、当日の食事の受け渡し時には、アレルギーカードをもとに支配人・教諭・児童本人による3者確認を徹底したことで、アレルギー事故は発生しなかった。 ・令和元年度より、自然教室時の昼食弁当について、プラストチラーの導入、昼食場所への配達（配達困難な場合を除く）を行い、食中毒のリスク低減を図った。 ・夏休み期間にお子様向けイベントとして、星空観察とミニプラネタリウム体験を実施し、お客様から好評を得た。					
区 記 入 欄	【改善すべき点・課題等】 ・自然教室の献立については、地域の特色を取り入れるためアジフライやシーフードカレーを提供したが、シーフードカレーの味付けが不評だった為、前半自然教室後直ちに献立を変更した。（後半の自然教室は台風の影響により全て中止となったため、改善後の再評価は行えなかった。）自然教室の献立については、学務課に栄養士同席での試食会への参加を依頼し、味付け・食材のバランス等を確認して頂いた上で自然教室に臨む。 ・4月から指定管理者が変更したこと、9月～3月まで休館になったことなどにより、自主企画やSNSを活用した広報などを実施することができなかった。今後、利用率向上のために新たな企画やツイッターによる配信などを行っていく。					
記 入 欄	【自然教室】 仕様書どおり適正に実施され、アレルギー事故等の問題も発生しなかった。 【一般利用】 ⑥鋸南町への職員派遣活動や台風19号通過後の避難所開設について、賄い業務の対応や浴室の開放等、区の危機管理課に対してできる限りの協力体制が取られた。 【利用率向上】 ①9月以降は休館となった影響もあるが、夏休み期間中の「ミニプラネタリウム体験」以外のイベント企画が実施されなかった。					
記 入 欄	【評価すべき点】食中毒リスク低減の取り組みやアレルギー対応等、問題なく運営されている。食事の味付けについても迅速な改善対応がされた。台風時の避難所開設は非常に良かった。今後も足立区の顔として誇れる施設になって欲しい。 【改善すべき点】SNSの機能や話題のネタを最大限に活用し、アクセス数を増やす取り組みが必要である。 【その他注意】今後もアレルギー対応や感染症予防対策等、適切な対応が求められ、イベント実施についても感染症対策を講じた内容で企画が必要となる。地域の特色を取り入れた献立については継続してほしい。					

足立区立校外施設指定管理者評価委員会

業務評価シート

【評価対象施設】 足立区立鵜南自然の家

【評価対象年度】 令和元年度 【自己評価】 令和2年6月5日 【評価委員会】 令和2年9月23日

【評価点】 水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり（水準クリア）：3点
 水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

中項目		確認項目					
2 事業 効果	(2) 利用の状況	計画どおりの利用状況となっているか		評価点			
			指定管理者	担当課	評価委員		
		①利用状況 ◆年間利用者数（一般利用者の延べ数）	3	3	3.0		
		②施設稼働率 ◆年間稼働率（一般利用者への開館日に対する稼働率）	3	3			
			計①	6	6	(満点=5点)	
			項目数②	2	2		
			評価点①÷②	3.0	3.0		
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】 ・4月から指定管理者が変更になったことによる春休み期間と台風による被害を受け、9月～3月まで休館となったことにより、年間を通しては利用者数・稼働率ともに目標を下回ったが、稼働していた4～8月の4か月間については概ね順調に推移したと判断している。 【改善すべき点・課題等】 ・令和2年度も新型コロナウイルスの影響を受けて、4～6月中旬まで休館となった。影響が終息した際には、集客に努め、利用者数の増加と稼働率の向上に努めていきたい。				
		区記入欄	【利用状況】 ①一般利用者数は目標値、平成30年度実績値を下回ったが、指定管理者交代により4/1～7まで休館、台風の影響により9/9～3/31まで休館の影響が大きい。休館を考慮すると令和元年度利用者数は、ほぼ平成30年度並みであった。 ②施設稼働率は、微減したが、ほぼ平成30年度並みであった。				
		記評入備委員	【評価すべき点】 台風や新型コロナウイルスの影響による休館期間を考慮すると、施設稼働率・利用者数は概ね前年並みを維持した。 【改善すべき点】 特になし。 【その他注意点】 今後も不測の事態により休館を余儀なくされたり、利用者の獲得が困難な状況になることが想定されるため、少ない機会の中で稼働率を上げるための施策を検討する必要がある。				

大項目 中項目		確認項目					
2 事業 効果	(3) 利用者の満足度（アンケート調査等による）	一般利用者の満足を得られているか		評価点			
			指定管理者	担当課	評価委員		
		①従業員の接客態度 ◆親切さ、説明のわかりやすさ、電話対応等、アンケート（従業員の対応）の評価	3	5	3.8		
		②施設・設備 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、案内サイン等、アンケート（客室・風呂）の評価	3	4			
		③食事 ◆提供する内容、アンケート（食事の味や量）の評価	3	4			
		④苦情・要望対応 ◆苦情・要望等の対応の適切さ・迅速さ	3	3			
			計①	12	16	(満点=5点)	
			項目数②	4	4		
			評価点①÷②	3.0	4.0		
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】 ・一般利用については、アンケートや宿泊中のお客様との対話の中で、概ね満足頂けていると感じており、引き続き良好な接客対応に努める。 ・台風被害を受けて、突然の休館となったため、職員が予約していた方全員に利用中止の連絡をした。その後も使用についての問合せも多数あったが、丁寧に説明して お断りし、お客様からの苦情はなかった。 ・自然教室では、実施報告書の評価で施設・運営、病気への対応等では概ね良好な評価を頂いており、引き続き事故の無い良好な対応に努める。				
区記入欄	【改善すべき点・課題等】 ・自然教室時のシェフドカレーについては児童が食べ慣れていないという点もあり、評価が低かった。令和2年度はポークカレーに変更し、児童が食べ慣れている味に近づけるよう努める。						
記評入備委員	【一般利用】 利用者アンケートにおいて、「大いに満足・満足」の割合が、40～「2」・61～「3」・81～「4」・99～「5」で評価した。 ①職員の接客態度 99.6% ②施設・設備 93.4% ③食事 96.2% 【自然教室】 各学校から提出された実施報告書において、「大変よい・よい」の割合が、40～「2」・61～「3」・81～「4」・99～「5」で評価した。 ①施設・運営 96.7% ②食事 40.0%						
	【評価すべき点】 一般利用及び学校利用の満足度が高く、悪評と言えないものがほぼ見られない。フリーコメント欄では一般利用客の食事に対する評価が高く、今後も良好な対応ができると期待する。 【改善すべき点】 アンケート回収率が低いため、信頼性を高めるためにも回収数を増やす必要がある。Webアンケート等に変更するのはどうか。 【その他注意点】 アンケートの要望に対する対応策については、「今すぐ対応できる」、「時間を要するが対応できる」、「区の判断が必要」等に仕分けを行い、対応漏れのないようにしてほしい。食事に関しては、その場所では食べられない食材等を用いて特徴を持たせるのもよいと思う。						
合計点		33.2	34.6	35.2			
		(満点=55点)	(満点=55点)	(満点=55点)			

足立区立校外施設指定管理者評価委員会

業務評価シート

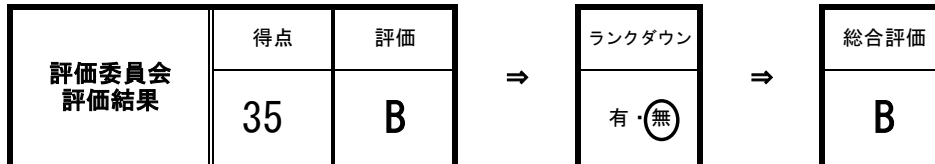
【評価対象施設】 足立区立鵜南自然の家

【評価対象年度】 令和元年度 【自己評価】 令和2年6月5日 【評価委員会】 令和2年9月23日

【評価点】 水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり（水準クリア）：3点
 水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

評価委員 評価意見	自然災害等の厳しい状況があったにもかかわらず、問題なく運営がされた。緊急時の的確な判断と地域への支援は普段の訓練や会社の方針が反映されたものであると思う。会社全体で他館での評価の高い取り組みを取り入れ、他館へ災害対応などの実績を伝授するなどの取り組みをするとより良い運営ができると思う。新型コロナウイルスの影響で会社全体の経営状況や資金繰りが懸念されるため、運営安定化の検討が必要となる。
--------------	--

【評価委員会評価結果】



※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【評価委員会評価基準】

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A+	A	A-	B+	B	B-	C
55点	33点	50点以上	46点以上 49点以下	41点以上 45点以下	37点以上 40点以下	33点以上 36点以下	30点以上 32点以下	29点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」……評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。

※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上げ）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨て）とする。

足立区立校外施設指定管理者評価委員会

業務評価シート

【評価対象施設】 足立区立日光林間学園

【評価対象年度】 令和元年度 【自己評価】 令和2年6月5日 【評価委員会】 令和2年9月23日

【評価点】 水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり（水準クリア）：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目				
1 管理 状 況	(1) 適切な 管理の 履行	基本協定や年度協定に沿って適切に管理が行われているか	評価点		評価委員	
			指定管理者	担当課		
		①開館日の設定（一般利用） ◆需要を見込んだ効率的な開館計画	3	3	3.0	
		②施設・設備の保守点検（内容、回数） ◆仕様書に基づく、保守点検・環境衛生・園庭管理の実施	3	3		
		③施設の清掃（内容、回数） ◆仕様書に基づく、清掃・害虫駆除の実施と施設内の整理整頓	3	3		
		④人員配置（配置数、専門性） ◆知識・経験・技量を有する人員の配置（フロント、調理担当、設備担当）	3	3		
		⑤人材育成の取組み（知識・技術向上） ◆各種研修・講習の開催、スタッフの意識改革プログラムの実行	4	4		
			計①	16	16	(満点=5点)
			項目数②	5	5	
			評価点①÷②	3.2	3.2	
	前回の評価委員会で指摘された改善事項に対して、どう取り組んでいるか	評価点		評価委員		
		指定管理者	担当課			
	①別紙『前回の評価結果の反映状況』を参照	3	3	3.0	(満点=5点)	
		計①	3.0	3.0		
		項目数②	1.0	1.0		
		評価点①÷②	3.0	3.0		
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 ・設備の保守点検は、仕様書の規定どおり全て実施することができた。またその他に、設備担当者を中心に日常の館内巡回点検と光熱水のメーター点検を行い、異常の早期発見に努め、事故はなかった。 ・保健所主催の食中毒予防講習に食品衛生責任者（調理長）が参加し、内容を周知することで食中毒予防の意識を高めた。 ・台風や大雨などの災害が頻発する中、職員が的確に対応するために外部講師を招聘して、土壌作成実地・災害対応研修を実施した。				
	区記入欄	【基本協定】 ⑤外部講師（消防関係者）を招聘して、全社員を対象に土壌作成実地・災害対応の研修を行っており、災害に対する知識向上を図る取組みがされている。 【前回の評価】 ①概ね前回の評価結果から改善の取組みがされている。				
	記評入欄委員	【評価すべき点】土壌作成実地・災害対応研修の実施等、安全面の意識向上に対する取組みが優れており、今後も継続して行っていただきたい。 【改善すべき点】アンケートにトイレの臭いについてコメントが散見されるため、点検項目や回数の見直しをしてはどうか。 【その他注意点】HACCPの考え方を取り入れた衛生管理方法の導入や感染症対策の講習などを検討する必要がある。講習会や研修会等は複数名で参加し、毎回職員を入れ替えながら参加すれば情報の漏れがなくなり安心かと思う。				
	(2) 安全性の 確保	施設の安全性は確保されているか	評価点		評価委員	
			指定管理者	担当課		
		①防災体制（火災、地震、台風等） ◆消防計画の策定、自衛消防訓練の実施	4	3	3.0	
		②防犯体制（運営事業計画書項目） ◆館内のセキュリティ管理、夜間警備体制 ◆施設内外の巡回、来所者の把握、鍵の管理	3	3		
		③事故等緊急時の体制・対策（運営事業計画書項目） ◆危機管理マニュアル、緊急時の体制、緊急連絡先一覧等の整備 ◆災害用の食糧等の備蓄・補充	3	3		
		④施設を安全に管理するための方策 ◆設備の破損や故障などへの迅速な対応	3	3		
			計①	13		12
			項目数②	4	4	
			評価点①÷②	3.3	3.0	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】 ・土壌作成実地及び災害対応講習を社内全職員を対象に実施し、各スタッフの危機管理並び緊急時のスキルアップを図った。 ・防火管理者は施設責任者が兼務し、昨年同様に自衛消防訓練は9月と3月に火災発生時の想定を変えて実施した。訓練の際には、消防署から水消火器を借用し実践的な 初期消火対応等の実技訓練も行き、万が一に備えている。 ・非常時に備えた食糧の備蓄は、非常用食品に加え、日常的に使う食材のうち、米・塩は一週間分相当を常時オーバーストックし、緊急災害時にでも食事提供ができるように、プロパンガス炊き出しセットも設置している。また、備蓄食材のアレルギー対応については、成分を表示する事で全社員が正確な知識と共通認識を持てるよう図った。			
		区記入欄	【特記事項】 ①防災体制については、法で定められた消火訓練等を実施しているが、新たな取組みは見られなかった。			
		記評入欄委員	【評価すべき点】備蓄食材のアレルギー対応について、全社員が共通認識を図られた。また、消防訓練は深夜・夕方を想定した訓練を行っている。 【改善すべき点】特になし。 【その他注意点】備蓄品については、消毒剤・手袋・マスク等の見直しが必要である。今後も台風等の自然災害が懸念されるため、一層の安全性の確保が求められる。			

足立区立校外施設指定管理者評価委員会

業務評価シート

【評価対象施設】 足立区立日光林間学園

【評価対象年度】 令和元年度 【自己評価】 令和2年6月5日 【評価委員会】 令和2年9月23日

【評価点】 水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり（水準クリア）：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目				
1 管 理 状 況	(3) 法令等の遵守 (※倫理性も含む)	個人情報保護、各種法令等は遵守されているか	評価点		評価委員	
			指定管理者	担当課		
	指定管理者記入欄	①個人情報保護の取組み ◆内部規定の策定、研修の実施	3	3	3.0	
		②個人情報事故への対応 ◆個人データの漏洩や紛失事故の有無、データアクセスのID制御	3	3		
		③労働条件の遵守(労働基準法、労働安全衛生法等) ◆労働条件審査主要チェックシート等による確認	3	3		
		④各種法令等の遵守 ◆防火管理者・食品衛生責任者等の配置	4	3		
			計①	13	12	(満点=5点)
			項目数②	4	4	
			評価点①÷②	3.3	3.0	
	記入欄	【アピールポイント】 ・個人情報の取り扱いの一部の職員に限定し、紙媒体は保管庫に入れ施錠、USB等のメモリーは外部への持ち出し禁止を徹底する事でH25年度からの指定管理期間中に漏洩事故は無い。 ・個人情報に関する取り扱いについて、5月以降の繁忙期前と3月の休館日明け前にマニュアルを元に施設内研修を行い、漏洩事故の無いように努めている。また、月1回弊社運営各施設の支配人が集う会議にて、個人情報保護に係わる事業及びSNSへの不適切な投稿(個人情報・社外秘の情報漏洩)の事業があった際は、情報共有し研修を行い、施設に戻ってから支配人より各スタッフへ周知する事で漏洩防止に努めている。 【改善すべき点・課題等】				
	区記入欄	【特記事項】 ④平成30年度に引続き、防火管理者・食品衛生責任者を2名体制で配置しているが、新たな取組みは見られなかった。				
	記入欄	【評価すべき点】長期間に渡り、個人情報の漏洩事故は発生していない。今後も事故の無いよう対応を継続して欲しい。 【改善すべき点】特になし。 【その他注意点】流行のSNSやスマートフォンの機能が年々変化するため、それに合わせた基本的なルールの他に最新事例を取り入れ、研修内容を更新する必要がある。				
	(4) 適切な財務・財産管理	適切な財務・財産管理が行われているか	評価点		評価委員	
			指定管理者	担当課		
	指定管理者記入欄	①収支状況(安定的な運営) ◆収支計画に沿った予算執行を行っているか。決算状況は良好か。 ◆経費削減に向けた取組を行っているか ◆会社全体の安定的な運営ができていますか	2	2	3.0	
		②現金や関係書類等の管理、経理処理 ◆受入れた管理費は適切に記帳処理がされているか ◆帳簿・関係書類の整備・保存、経理状況の明確化	3	3		
		③経理を担当する常勤の職員 ◆出納係または経理責任者等の配置 ◆現金、貴重品の取扱い時の二重チェック体制の構築	3	3		
		④備品の管理 ◆動作確認、修繕・買替え計画	3	3		
			計①	11	11	(満点=5点)
			項目数②	4	4	
			評価点①÷②	2.8	2.8	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 ・R1年度も経理処理は本社主導で行い、施設では小口現金と現金精算の売上金以外の現金は取り扱わない体制を継続した。施設内での現金の管理・金融機関への入金・記帳は支配人のみが行っており本社との二重チェックも継続して行っており、金銭管理上の事故はなかった。 ・過去の修繕履歴を踏まえ、経年劣化が見受けられる備品や買替が必要と思われる備品については、早期に区担当者へ連絡・相談をするよう努めている。また、突然の不調の際は、速やかに報告・相談を行い対応している。 【改善すべき点・課題等】				
	区記入欄	【特記事項】 ②3月の休館があったにもかかわらず、一般利用者は増加し、利用料収入は昨年度に比べ増加した。しかし、人件費や事業費などが増加したため、マイナス収支となった。				
	記入欄	【評価すべき点】改善が必要などところはすくに対応する等、常に改善する体制が一般利用者の増加、利用料収入の増加に繋がっている。金銭管理については、仕様書どおり適正に管理されている。 【改善すべき点】特になし。 【その他注意点】経費削減に向けた取り組みについて、全社的な取り組みを更に強化することが求められる。手書きの帳簿付けについては、記帳量が増加し、負荷が増えた際には、IT導入等の効率化の検討が必要である。				

足立区立校外施設指定管理者評価委員会

業務評価シート

【評価対象施設】 足立区立日光林間学園

【評価対象年度】 令和元年度 【自己評価】 令和2年6月5日 【評価委員会】 令和2年9月23日

【評価点】 水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり（水準クリア）：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目				
2 事業 効果	(1) 事業 の 取 組 み	自然教室について 適切に運営がされているか		評価点	評価委員	
		指定管理者	担当課			
		①校外学習の向上に向けた取組み・方策 ◆児童が集団生活の中で、社会性・自律性・創造性を学ぶためへの支援 ◆施設内や施設外の附属設備で実施可能なプログラムの検証・提案	3	3	3.2	(満点=5点)
		②食育に向けた取組み・方策 ◆食への感謝と理解を深め、食に対する楽しさや興味への喚起、食材や栄養への知識の提供 ◆栄養バランスの整った食事、野菜摂取量、おいしい給食(食事)への取組み	3	3		
		③アレルギー対応 ◆学校との事前打ち合わせ、チェック体制、配膳方法	3	3		
		④感染症対策(感染性胃腸炎ほか) ◆予防と拡大防止、児童の健康情報の学校との共有化	3	3		
		計①	12	12		
		項目数②	4	4		
		評価点①÷②	3.0	3.0		
		一般利用について 適切に施設の運営がされているか		指定管理者	担当課	評価点
指定管理者	担当課					
①区民サービス向上に向けた取組み・方策 ◆区民(利用者)がより快適な時間を過ごせるようなサービスの提供 ◆地域のイベント、季節の花、気象情報、交通情報などの情報提供	3	3	3.2	(満点=5点)		
②一般利用者へ適正かつ確実なサービス提供 ◆予約・利用申込みは、区の規定に従い優先順位の遵守、利用時間の遵守 ◆利用者の立場に立ちながら、公平な利用機会の提供	3	3				
③多様化する利用者からのニーズに対応する取組み ◆車いす利用の方への対応 ◆高齢・障がいをお持ちの方への対応 ◆子育て世帯への対応	3	3				
④利用者とのトラブル防止策 ◆対応マニュアル等による従業員への徹底、ヒューマンエラーの防止策 ◆トラブル内容の明確化と原因の調査、従業員への周知と業務への反映	3	3				
⑤賄い業務体制と衛生管理の取組み ◆食事の質の向上への取組み、季節にあわせたメニューの提供、特別料理の提供など ◆食品衛生・環境衛生への配慮	4	3				
⑥区の施策等に対する取組み ◆区の施策内容を理解し、積極的な取組み・協力体制	3	3				
計①	19	18				
項目数②	6	6				
評価点①÷②	3.2	3.0				
利用率向上の取組みがされているか		指定管理者	担当課	評価点	評価委員	
指定管理者	担当課					
①一般利用者の利用率が上がる自主企画の提案 ◆地域特性を活かしたプログラムの実施・新規プログラムの開拓 ◆利用者が少ない時期に利用者増を目的に実施する企画やサービス等の実施	4	4	3.8	(満点=5点)		
②利用率向上に向けた情報発信 ◆SNS、広報等の活用等 ◆区民利用を促すための独自の広報戦略	4	4				
計①	8	8				
項目数②	2	2				
評価点①÷②	4.0	4.0				
指定 管理 者 記 入 欄	<p>【アピールポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然教室時の安全対策として、衛生電話・トランシーバー・熊鈴の貸出しをR1年度も継続した。 ・自然教室の献立に関してはH30年度同様に添加物の入った食材の使用を極力減らし、できるだけ手作りのものを提供した。 ・自然教室時には日光の特産品である「湯葉」を取り入れた献立の提供を継続している。(2日目夕食「湯葉と小松菜のスープ」)湯葉について事前に調べてくる学校もあり、食育の一環としてR2年度以降も湯葉を取り入れた献立を継続していく。 ・自然教室実施時には毎日遊歩道の巡回をしている。7月に大雨の影響で遊歩道に崩落がみられた際には、速やかに区に報告し、通行止めへの対応をとったため、転落事故等は起こらなかった。 ・車いす利用や盲導犬利用のお客様に対しては、205号室と職員風呂の案内を行い、不自由なく宿泊出来る様サポートしている。また、大浴場に入浴出来ないお客様にも、通常開放していない職員風呂を家族風呂としてご利用頂く対応をとり、快適に過ごして頂く様配慮している。 ・一般開放時の食事メニューは季節毎に年4回変更し、お正月にはお正月メニューの提供を行い、いつ宿泊してもお客様にご満足いただける様努めるとともに、一般開放時もアレルギー対応のご要望を可能な限り対応し、アンケートで良好な評価を頂いている。 ・日光周遊企画を5月(15名参加)、8月(20名参加)、12月(20名参加)の3回催行した。それぞれ多くのお客様にご予約賜り、ご好評頂いた。 ・利用率向上の為、公式ホームページ及びツイッターによるイベントや日光周辺の状況等の定期的な発信は、今後も継続して行っていく。また、周遊企画等は広報での情報発信、チラシの作成と区内地域学習センターへの配布が周遊企画の予約増につながっていると考えられるため、今後も継続して実施し、集客に結びつけていく。 ・H28年度にツイッターを開設し、イベントや日光の観光情報・現地のプチ情報などを継続して発信し、フォロワー数も順調に増えてきている。(R1年度は24回ツイートし、H30年度までのフォロワー数68に対しR1年度終了時点でのフォロワー数は106に増えた。日光林間学園に関心を持つ方が増えてきている。)特に、お客様の関心をひくような日光林間学園の料理や地元のお店の料理の写真などを積極的に掲載し、お客様への情報発信と利用率向上の対応に努め継続していく。 <p>【改善すべき点・課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊企画については、マンネリ化しないよう、実施する時期・立ち寄り地を変えながら、令和2年度以降も継続して実施する。 					
区 記 入 欄	<p>【一般利用】</p> <p>⑤平成30年度に引続き、季節毎のメニュー変更やお正月メニューを提供しているが、新たな取組みは見られなかった。</p> <p>【利用率向上】</p> <p>①日光周遊ツアーを年3回開催し、日光林間学園のツアーとして定着してきている。令和元年度は、はじめて、夏休みに折り紙体験教室、冬休みにかるた大会・星空観察などの親子向け企画を実施し、好評をえた。</p> <p>②Twitterの年間掲載回数を増やし、フォロワー数も増加してきていることから、利用率向上に向けた情報発信を積極的に行った。</p>					
記 入 欄	<p>【評価すべき点】 ツアーやプログラム等を多く計画し、実施されている。SNSのフォロワー数の増加も評価でき、情報発信をして集客を強化している。利用者が安心・安心に過ごす事を第一に考えた機転の利いた対応が多い。</p> <p>【改善すべき点】 SNSの活用方法については見直し強化を図り、アクセス数を増やす取組みが必要である。</p> <p>【その他注意点】 自社発信のみでなく、利用者からの良い口コミを発生させる仕掛け、イベントやツアーをレポートしたくなるような仕掛けがあると更に良い。地域の特色を取り入れた献立や食材の活用については内容の多様性等検討してほしい</p>					

足立区立校外施設指定管理者評価委員会

業務評価シート

【評価対象施設】 足立区立日光林間学園

【評価対象年度】 令和元年度 【自己評価】 令和2年6月5日 【評価委員会】 令和2年9月23日

【評価点】 水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり（水準クリア）：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

中項目		確認項目					
2 事業 効果	(2) 利用 の 状 況	計画どおりの利用状況となっているか		評価点			
			指定管理者	担当課	評価委員		
		①利用状況 ◆年間利用者数（一般利用者の延べ数）	4	4	3.8	(満点=5点)	
		②施設稼働率 ◆年間稼働率（一般利用者への開館日に対する稼働率）	4	4			
			計①	8			8
			項目数②	2			2
				評価点①÷②	4.0	4.0	
		指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】 ・一般利用者は6,525名だった。プロポーザル時目標の6,225名、昨年度実績の6,382名を上回り順調に推移したと判断している。3月に開館できていたら更に利用者数が増えたと推測する。 ・稼働率は69.9%で昨年度実績61.0%を上回り順調に推移したと判断している。 ・3月予定の開放日が全て休館となった中で、利用状況の目標を達成出来た事は、9月の台風以降館南自然の家が休館となっていることもあるが、地道な情報発信や口コミによる好評の広がりによるものもあると判断しており、良好な評価を頂けるサービスを継続する事で今後もより一層の利用者増に努める。</p> <p>【改善すべき点・課題等】 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、施設の休館が増え、令和2年度の集客は厳しいものになることが推測される。休館中もお客様が離れていかないような工夫を講じる必要があると考える。</p>				
		区記入欄	<p>【特記事項】 ①一般利用者は6,525名であり、R1年目標値、プロポーザル目標値、昨年度実績値、の全てが上回り、順調に利用者が増加した。3月の休館がなければ、さらに利用者数が増える見込みであった。 ②施設稼働率は69.9%であり、R1目標値、昨年度実績値を上回り、順調に稼働率が上昇した。</p>				
		記入評価委員欄	<p>【評価すべき点】 昨年度と比べて利用者数、稼働率が順調に上昇した。施設で働くスタッフが顧客満足度の向上を常に意識して取り組んでいる点が要因であり、アンケート結果にも表れている。閉館時期以外については概ね順調な運営がされた。 【改善すべき点】 特になし。 【その他注意点】 目標達成やアンケート評価を全従業員にフィードバックし、称賛する取り組みを実施継続してほしい。</p>				

大項目		確認項目		
-----	--	------	--	--

中項目		確認項目				
2 事業 効果	(3) 利用 者 の 満 足 度 （ ア ン ケ ー ト 調 査 等 に よ る）	一般利用者の満足を得られているか		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員	
		①従業員の接客態度 ◆親切さ、説明のわかりやすさ、電話対応等、アンケート（従業員の対応）の評価	4	4	3.8	(満点=5点)
		②施設・設備 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、案内サイン等、アンケート（客室・風呂）の評価	4	4		
		③食事 ◆提供する内容、アンケート（食事の味や量）の評価	4	4		
		④苦情・要望対応 ◆苦情・要望等の対応の適切さ・迅速さ	3	3		
			計①	15	15	
			項目数②	4	4	
			評価点①÷②	3.8	3.8	
		指定管理者記入欄	<p>【アピールポイント】 ・一般開放時のアンケートでは令和1年度も良好な評価を頂いており、お客様に満足して頂けていると判断している。 ・R1年度のアンケートでのご要望・ご指摘・ご意見を頂いた点については、即座に支配人より担当者へ伝達の上、改善を図っている。 ・自然教室の実施報告書では、各学校より概ね良好な評価を頂いた。引き続き事故の無いよう様々な面に気を配り対応していく。</p> <p>【改善すべき点・課題等】</p>			
区記入欄	<p>【一般利用】 利用者アンケートにおいて、「大いに満足・満足」の割合が、40～「2」・61～「3」・81～「4」・99～「5」で評価した。 ①従業員の接客態度：98.9% ②施設・設備：95.0% ③食事：90.6% 【自然教室】 各学校から提出された実施報告書において、「大変よい・よい」の割合が、40～「2」・61～「3」・81～「4」・99～「5」で評価した。 ①施設・運営：95.7% ②食事：72.5%</p>					
記入評価委員欄	<p>【評価すべき点】 一般利用、学校利用の満足度が高い。クレームがある場合は感想部分に書かれやすいが、悪評と言えるものがほぼ見られず、従業員指名の感想も多く利用者とのコミュニケーションが取れている。 【改善すべき点】 特になし。 【その他注意点】 アンケートの要望に対する対応策については、「今すぐ対応できる」、「時間を要するが対応できる」、「区の判断が必要」等に仕分けを行い、対応漏れのないようにしてほしい。</p>					
合計点		36.4	36.0	36.1		
		(満点=55点)	(満点=55点)	(満点=55点)		

足立区立校外施設指定管理者評価委員会

業務評価シート

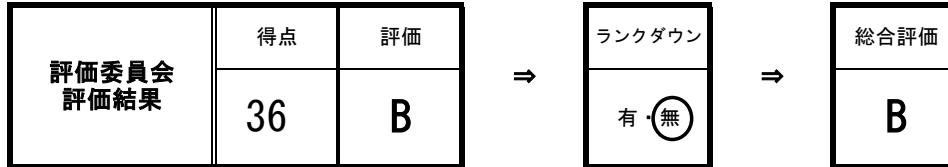
【評価対象施設】 足立区立日光林間学園

【評価対象年度】 令和元年度 【自己評価】 令和2年6月5日 【評価委員会】 令和2年9月23日

【評価点】 水準を大きく上回る：5点 水準を上回る：4点 水準どおり（水準クリア）：3点
水準を下回る：2点 水準を大きく下回る：1点

評価委員 評価意見	全体的に現状維持でなく、どうしたら良くなるかを考えながら運営をされている。満足度の高い施設のため、ロコミでも利用者は増加していくと思われるが、日光周辺に行く際に泊まれるよう区民にもっとPRを行い、これからも多くのツアーやプログラムを計画して、利用者を更に増加させて欲しい。新型コロナウイルスの影響で会社全体の経営状況や資金繰りが懸念されるため、運営安定化の検討が必要となる。
--------------	---

【評価委員会評価結果】



※評価結果は評価委員会が行う。

※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【評価委員会評価基準】

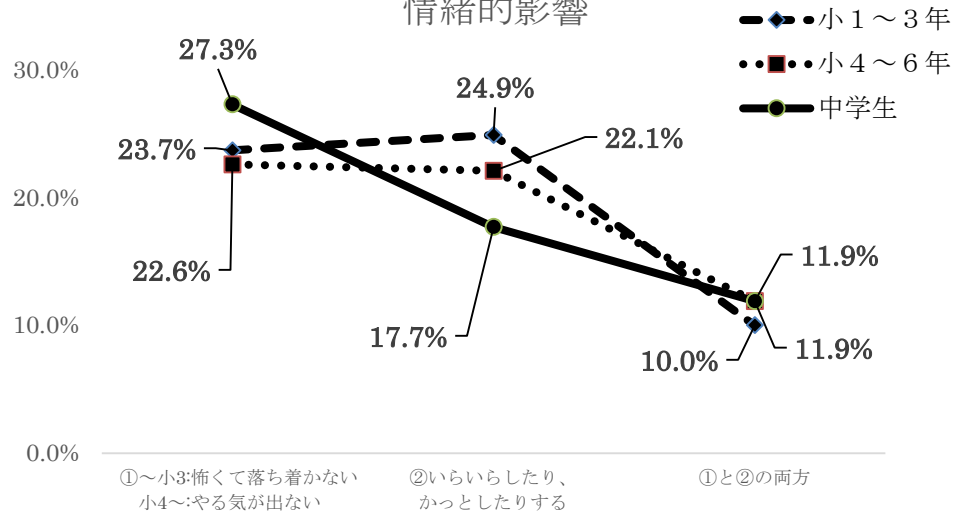
評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A+	A	A-	B+	B	B-	C
55点	33点	50点以上	46点以上 49点以下	41点以上 45点以下	37点以上 40点以下	33点以上 36点以下	30点以上 32点以下	29点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」……評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。

※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上げ）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨て）とする。

件名	「こころとからだアンケート」の実施結果について																												
所管部課名	こども支援センターげんき教育相談課																												
内容	<p>1 目的 臨時休校明けの児童・生徒のストレス状態を把握し、教員やスクールカウンセラー（以下、SC）による個別支援に役立てる。</p> <p>2 対象 区立小・中学校 全児童・生徒（発達段階に応じた区分分け）</p> <table border="1" data-bbox="518 627 1308 795"> <tr> <td>調査回答数</td> <td>小学1年生～3年生</td> <td>14,198名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小学4年生～6年生</td> <td>15,431名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学1年生～3年生</td> <td>13,100名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>42,729名</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※回答率95.8%</p> <p>3 調査期間 令和2年7月14日～8月17日</p> <p>4 概要（学年区分の特徴）</p> <p>(1) 小学1年生～3年生 「眠れていない」の回答が約8%と、他の学年区分と比較して最も高かった。一方、「こわくて落ち着かない」「いらいらする」の項目では「ある」「少しある」の回答が約60%で、他の学年区分より低かった。</p> <p>(2) 小学4年生～6年生 「いらいらする」の項目では約67%が「ある」又は「少しある」と回答し、他の学年区分との比較で最も高かった。</p> <p>(3) 中学生 小学生との比較では、「やる気が出ない」の項目は高かったが他項目では概ね低かった。</p> <div data-bbox="438 1512 1380 2083"> <p style="text-align: center;">身体的影響</p> <table border="1" data-bbox="438 1512 1380 2083"> <caption>身体的影響の割合</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>小1～3年</th> <th>小4～6年</th> <th>中学生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ぐっすり眠れていない</td> <td>8.3%</td> <td>4.4%</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>食事がおいしく食べられていない</td> <td>2.1%</td> <td>0.9%</td> <td>1.7%</td> </tr> <tr> <td>眠れないし、食べられていない</td> <td>1.0%</td> <td>0.4%</td> <td>0.8%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	調査回答数	小学1年生～3年生	14,198名		小学4年生～6年生	15,431名		中学1年生～3年生	13,100名		合計	42,729名	項目	小1～3年	小4～6年	中学生	ぐっすり眠れていない	8.3%	4.4%	7.1%	食事がおいしく食べられていない	2.1%	0.9%	1.7%	眠れないし、食べられていない	1.0%	0.4%	0.8%
調査回答数	小学1年生～3年生	14,198名																											
	小学4年生～6年生	15,431名																											
	中学1年生～3年生	13,100名																											
	合計	42,729名																											
項目	小1～3年	小4～6年	中学生																										
ぐっすり眠れていない	8.3%	4.4%	7.1%																										
食事がおいしく食べられていない	2.1%	0.9%	1.7%																										
眠れないし、食べられていない	1.0%	0.4%	0.8%																										

情緒的影響



特徴	ぐっすり眠れていない	食事がおいしく食べられていない	眠れないし、食べられていない
学年			
小1～3年	1,181 (8.3%)	303 (2.1%)	135 (1.0%)
小4～6年	672 (4.4%)	133 (0.9%)	60 (0.4%)
中学生	934 (7.1%)	224 (1.7%)	107 (0.8%)

特徴	①怖くて落ち着かないことがある(中学生・やる気が出ないことがある)	②いらいらしたり、かっとしたりする	①と②の両方
学年			
小1～3年	3,370 (23.7%)	3,530 (24.9%)	1,422 (10.0%)
小4～6年	3,484 (22.6%)	3,412 (22.1%)	1,835 (11.9%)
中学生	3,575 (27.3%)	2,317 (17.7%)	1,556 (11.9%)

※ () は全児童・生徒に対する割合

5 分析

(1) 身体的影響（睡眠・食欲）

各学年とも「眠れていない」「食べられていない」との回答が1割未満であり、目立つ身体的なストレス反応は表れていない。

(2) 情緒的影響

意欲低下や苛立ちなどの情緒的なストレス反応では、「少しある」「ある」と回答した割合が半数を越えている。長期休業の影響かどうかは断定できないが、一定のストレス反応を示している。

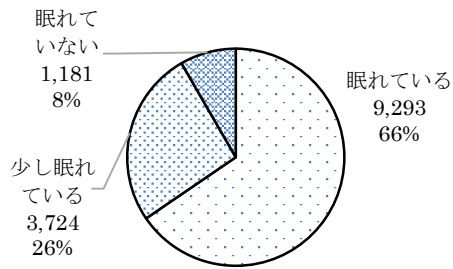
6 ストレス反応があった児童生徒への支援

各小・中学校で配慮を必要とする回答をした児童・生徒に対し、教員やSCによる個別面談が行われている。

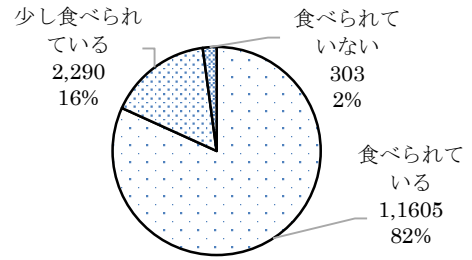
集計結果を各学校にフィードバックし、児童・生徒の心のケアに役立てる。

【詳細結果】 <小学1～3年生>

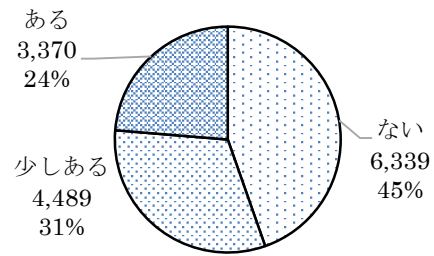
質問1
まいにち、ぐっすりねむれている



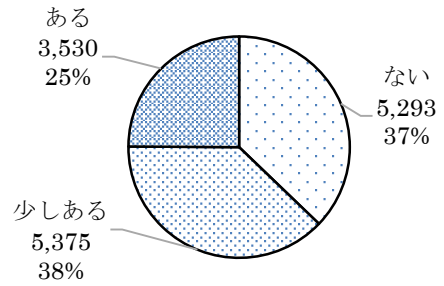
質問2
ごはんをおいしくたべられている



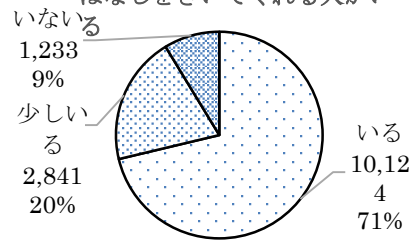
質問3
こわくて、おちつかないことがある



質問4
むしゃくしゃしたり、いらいらしたり、かっとなったりする

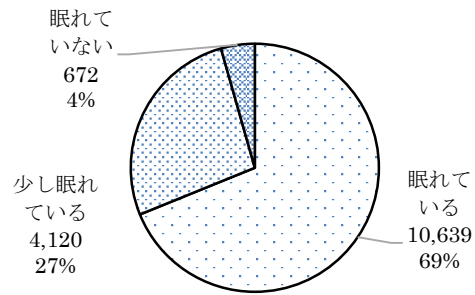


質問5
こまったときに、はなしをきいてくれる人がいる

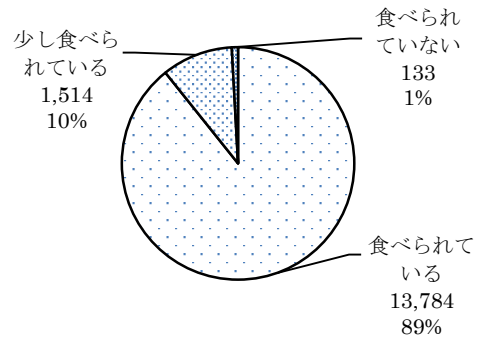


<小学4～6年生>

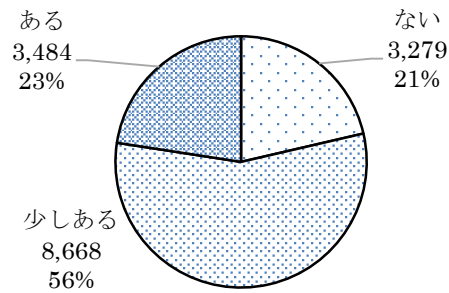
質問1
まいにち、ぐっすりねむれている



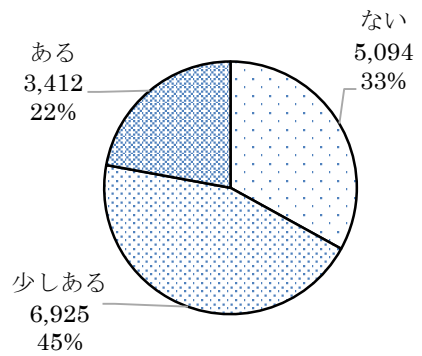
質問2
ごはんをおいしく食べられている



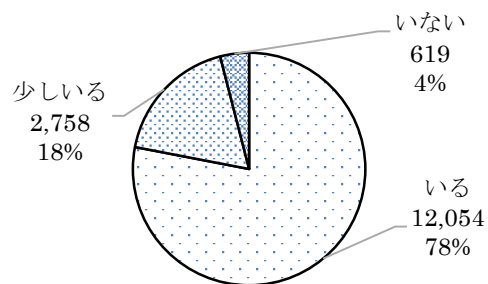
質問3
やる気が出ないことがある



質問4
むしゃくしゃしたり、いらいらしたり、かっとしたりする

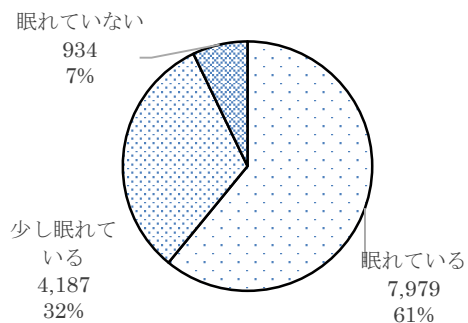


質問5
こまったことがあった時、話を聞いてくれる人がいる

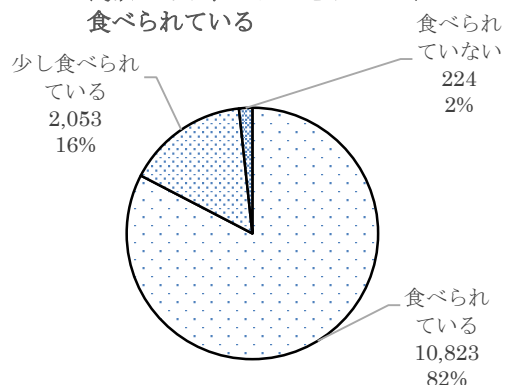


<中学生>

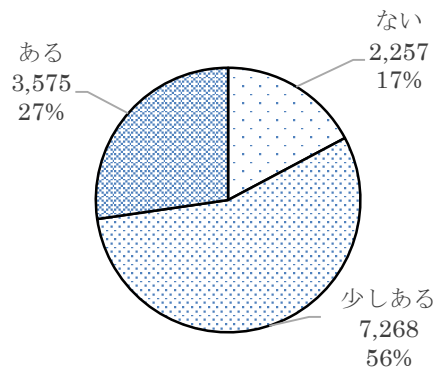
質問1
毎日ぐっすり眠れている



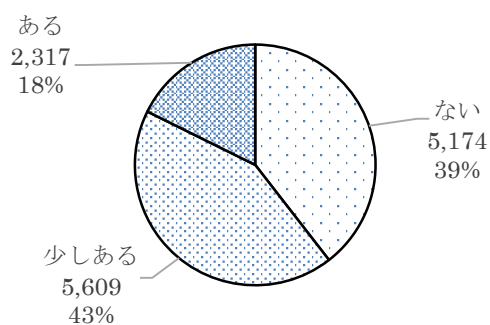
質問2
食欲があり、ごはんをおいしく
食べられている



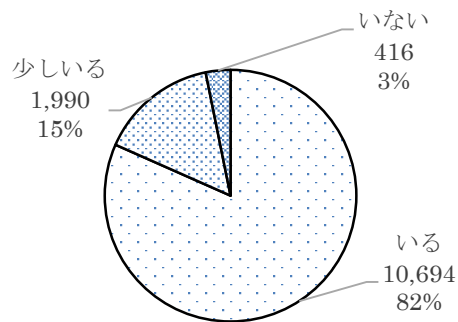
質問3
やる気が出ないことがある



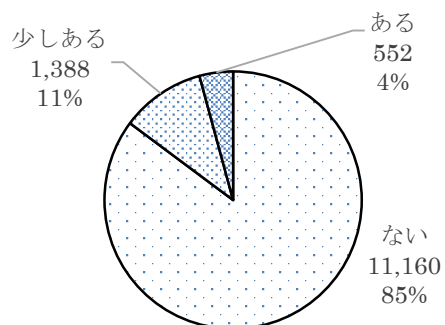
質問4
むしゃくしゃしたり、いらいらしたり、かっとしたりする



質問5
困ったことがあった時、
話を聞いてくれる人がいる



質問6
相談したいことがある



問題点
今後の方針

感染症対策による制限のある生活が続くため、児童・生徒の情緒面の反応に留意する。教員やSCによる面談など、必要に応じて個別対応を行う。